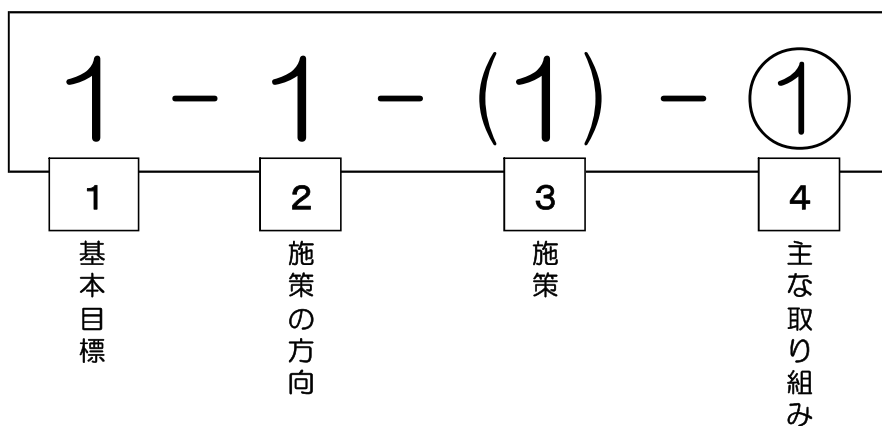


第2章 施策の展開

施策の展開の見方

第2章「施策の展開」(39～81頁)では、基本目標ごとに、施策の方向、施策、主な取り組みについて次のとおり示しています。

(例) 施策番号



1	第1階層	基本目標
1-1	第2階層	施策の方向
1-1-(1)	第3階層	施策
1-1-(1)-①	第4階層	主な取り組み

(例) 基本目標

基本目標1
生きる力を育む学校教育を進める

自立して生きていくための基礎となる確かな学力、健康な心と体を育みます。そして、保護者や地域から信頼され、学校・家庭・地域が一体となった質の高い教育を推進します。

施策の方向

- 1 自立して生きていくための基礎となる確かな学力を育む
- 2 自立して生きていくための基礎となる健康な心と体を育む
- 3 信頼される、質の高い教育環境をつくる

1 基本目標

基本目標でめざすべき内容を記述

基本目標を達成するために掲げた施策の方向の一覧

(例) 施策の方向

施策の方向 1
自立して生きていくための基礎となる確かな学力を育む 1-1

本市では、子どもたちが、日々変化する社会の中でも越谷市に生まれ育ったことに誇りをもちながら、将来国際社会で活躍できるよう、自分で考え、行動できるようになってもらいたいと考えます。

そのために、ICT教育をはじめとした時代に即した教育の推進、教職員の指導力の向上、環境教育の充実、伝統文化を意識した国際性を育む学校教育の推進に取り組み、一人ひとりが自立して生きていくための確かな学力を身に付けることができるようにします。

■ 施策の体系

- 自立して生きていくための基礎となる確かな学力を育む 1-1
- 時代に即した学校教育の推進 1-1-(1)
- 指導内容の充実と指導方法の工夫改善 1-1-(2)
- 環境教育の充実 1-1-(3)
- 伝統文化を尊重し国際性を育む教育の推進 1-1-(4)

2 施策の方向

施策の方向ごとに、越谷市が重要と考えていることや、そのために取り組む内容について記述

施策の方向ごとに実行する施策を体系化

(例) 施策と主な取り組み

■ 施策
伝統文化を尊重し国際性を育む教育の推進 1-1-(4)

グローバル化の進む社会において、日本人としての自信と誇りをもち自立した人材を育てるためには、我が国や郷土の伝統文化に対する理解や愛情をもつとともに、他の国の文化を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与するという態度を養う教育が大切です。

そのため、部活動やクラブ活動における指導などを通して、日本の伝統文化を尊重し理解するための教育を推進します。また、対外的なコミュニケーション能力を高め、諸外国の文化への理解を深めることができるよう、小中学校における英語教育を充実するとともに、姉妹都市派遣事業等によって国際理解教育を推進していきます。

主な取り組み	内容	担当課
小中学校における英語教育の推進と語学指導助手(ALT)の活用 1-1-(4)-①	グローバル化に対応できる児童生徒の育成のため、小中学校における英語教育の拡充・強化を図ります。 また、児童生徒の英語への興味・関心やコミュニケーション能力を高めるため、語学指導や国際理解教育の指導にあたる語学指導助手(ALT)を市内全小中学校に配置し、英語教育の推進に取り組みます。 さらに、平成32年(2020年)の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、英語教育の環境づくりを推進します。	★指導課
日本伝統文化推進事業の推進 1-1-(4)-②	日本の伝統文化を理解し大切にすることを育成するため、茶道、華道、箏曲などの部活動(中学校)や、お囃子、里神楽、木遣などのクラブ活動(小学校)に専門性をもった外部指導者を招き、様々な体験や文化に接する機会を設けます。 また、日本文化に対する関心を高めるため、活動の成果を発表する場として日本文化伝承の集いを実施するほか、市内小学校6年生全員を対象に伝統芸術鑑賞として「能」鑑賞の機会を提供します。	★指導課 生涯学習課
国際理解教育の推進 1-1-(4)-③	広い視野をもって異文化を理解し、国際社会で主体的に活躍できる児童生徒を育成するため、小学校における外国語活動指導資料の作成や、中学校における姉妹都市派遣事業に対する支援を行います。	★指導課 (市民活動支援課)

3 施策

施策における現状や課題、今後取り組んでいく内容等について記述

主な取り組みとして、より具体的に取り組んでいく事業等について記述

4 主な取り組み

★は主管課所、()内は連携を図る市長部局の関係課所を記載